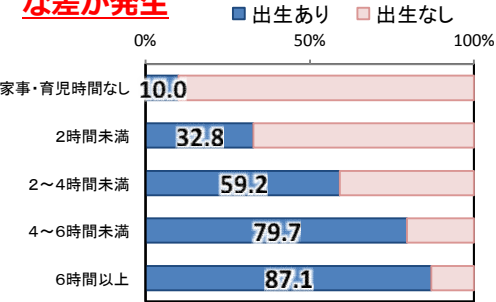


男性の育児休暇・育児休業の取得の促進

ポイント 男女の「仕事と育児の両立」を支援するため、男性の育児休暇・育児休業の取得を促進します。そのために、職場環境づくりに向けて、企業の取り組みを促します。

1 現状

◆ 夫の休日の家事・育児時間によって、**第2子以降の出生割合に非常に大きな差が発生**



(国立社会保障・人口問題研究所「H27出生動向基本調査」)

◆ 育児休業を取得した人の割合は、女性の81.8%に比べ、**男性はわずか3.16%**

(厚生労働省「平成28年雇用均等基本調査」)

◆ 一方で、子どものいる**男性の3割が育児休業の取得を希望**

(内閣府「H27年度調査 少子化社会に関する国際意識調査報告書」)

⇒ 育児休業を取得しなかった理由として「**職場が育児休業制度を取得しづらい雰囲気だったから**」と答えた**男性正社員が26.6%**

(厚生労働省「H27年度 仕事と家庭の両立支援に関する実態把握のための調査研究事業報告書」)

育休取得の希望を叶えることが必要

2 課題

■ 職場環境の改善などが必要

① 男性が育児に関する休暇等取得しやすい職場環境づくり

- 時間単位の年休制度や特別休暇制度の創設
- 男性職員への制度の周知
- 男性が育児休暇等を取りやすい会社の雰囲気づくり
- トップの意識の変化

② 加えて、**男性職員自身の意識の醸成**

3 平成30年度の主な取り組み

① 男性が育児に関する休暇等取得しやすい環境づくり

◆ **企業等への啓発**

- 応援団通信の発行、応援団交流会の開催、優良事例の情報提供
- 管理職・人事担当者向けセミナー、働く男性・女性向けセミナーの開催
- 一般事業主行動計画策定支援講座等の開催 など

◆ **社会全体での機運醸成**

- 男性の育児休暇・育児休業の取得促進をテーマとしたフォーラムの開催
- 応援団が行う「男性の育児休暇・育児休業の取得促進宣言」への支援
 - 宣言企業への参加の声かけ
 - 応援団通信や企業訪問、既存の広報媒体を通じた広報等
 - 新聞(全面15段カラー)への宣言企業名や宣言内容の掲載

② 男性職員自身の意識の醸成

- ◆ 高知県版父子手帳の作成・配布
- ◆ 男性家事講座、パパとママのためのコミュニケーション講座の開催
- ◆ 「応援団通信」などを通じた啓発〔再掲〕 など

「男性の育児休暇・育児休業の取得促進宣言」

企業・団体が共同して「宣言」

平成30年度の展開イメージ

～3月	4月～6月	7月	8月～
企業等の実態把握及び取りまとめ ・特別休暇制度の有無など	応援団通信で情報発信 経営者・育休対象者等向け 応援団交流会 企業訪問・広報等	● 「高知家「出会い・結婚・子育て応援」フォーラム2018」の開催 ● 新聞広告等	(企業・団体における取組) ・従業員に向けた周知、社内研修会の実施 など (県の取組) ・取組企業数を増加 ・高知県版父子手帳の作成・配布 ・各種セミナー・講座の開催 ・事業戦略の策定等と連携した経営者への働きかけ など